

荒川区景況速報（令和5年7月～9月）

あら坊の景気ウォッチング!



全業種の動向

1 今期（7～9月）・次期（10～12月）の業況判断

※D Iとは、「良い」と回答した企業の割合－「悪い」と回答した企業の割合

荒川区の今期は▲30.7（前回調査▲30.7）と前期並み、次期は▲26.4とやや改善の予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では改善、東京都でも改善の予想となっている。

2 今期（7～9月）の売上（4～6月と比較した状況）

「増加した」が14.8%、「あまり変わらない」が46.3%、「減少した」が38.9%となっている。

【新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の経営状況について】

3 新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症へ移行しました。5類移行以前と比べた、5月以降の貴社の経営状況として当てはまるものを教えてください。

「変わらない」が63.8%、「プラスの影響があった」が17.2%、「マイナスの影響があった」が11.7%、「大いにマイナスの影響があった」が4.9%、「大いにプラスの影響があった」が2.5%となっている。

4 プラスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。

「行動制限解除により人出が回復したため」が36.7%、「対面営業を再開できたため」が26.7%、「消費動向の回復による影響が増えたため」が20.0%、「その他」が8.3%、「新規顧客、受注先が増加したため」が6.7%、「インターネット等によるオンライン販売の利用が拡大したため」が1.7%となっている。

5 マイナスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。

「原油・原材料価格高騰」が26.9%、「取引先・受注が減少したまま」が25.6%、「客足が戻らない」が23.1%、「人件費高騰・人手不足」が10.3%、「その他」が9.0%、「取引先等が倒産したため」が5.1%となっている。

* 調査方法等

今回の調査は、業種別構成比に基づき、抽出した区内中小企業200事業所を対象に、今期と次期について調査を行いました。調査票は令和5年9月8日に発送し、163事業所から回答（回収率81.5%）がありました。なお、集計結果の構成比の数値は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合があります。

（問合せ）荒川区 産業経済部 産業振興課 管理係 担当：山本、益子
電話：03（3802）3111 内線：446

1 今期（7～9月）・次期（10～12月）の業況判断

(1) 全業種

荒川区の今期は▲30.7（前回調査▲30.7）と前期並み、次期は▲26.4とやや改善の予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では改善、東京都でも改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	4～6月	▲30.7	7～9月	▲30.7	10～12月	▲26.4	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	4～6月	▲10.8	7～9月	▲12.8	10～12月	▲4.6	
東京都（東京都 中小企業の景況）	7月	▲24	8月	▲27	9～11月	▲20	

(2) 製造業

荒川区の今期は▲16.3（前回調査▲40.5）と大幅に改善、次期は▲16.3と前期並みの予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では大幅に改善、東京都ではほぼ横ばいの予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	4～6月	▲40.5	7～9月	▲16.3	10～12月	▲16.3	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	4～6月	▲10.4	7～9月	▲13.5	10～12月	▲3.2	
東京都（東京都 中小企業の景況）	7月	▲27	8月	▲26	9～11月	▲25	

(3) 卸売業

荒川区の今期は▲43.9（前回調査▲50.0）と改善、次期は▲41.5とやや改善の予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では改善、東京都では大幅に改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	4～6月	▲50.0	7～9月	▲43.9	10～12月	▲41.5	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	4～6月	▲9.3	7～9月	▲7.3	10～12月	▲0.4	
東京都（東京都 中小企業の景況）	7月	▲23	8月	▲29	9～11月	▲17	

(4) 小売業

荒川区の今期は▲47.6（前回調査▲25.7）と大幅に悪化、次期は▲33.3と大幅に改善の予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国では改善、東京都では大幅に改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	4～6月	▲25.7	7～9月	▲47.6	10～12月	▲33.3	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	4～6月	▲22.1	7～9月	▲21.7	10～12月	▲13.1	
東京都（東京都 中小企業の景況）	7月	▲31	8月	▲40	9～11月	▲21	

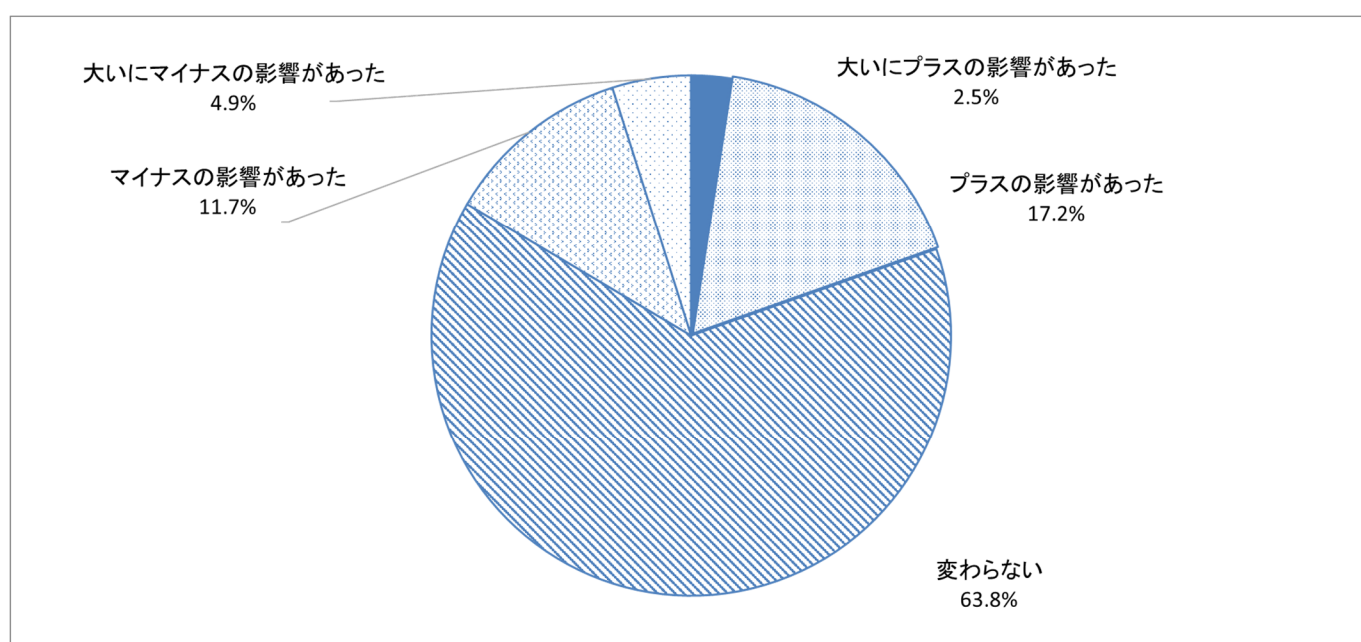
2 今期（7～9月）の売上（4～6月と比較した状況）

「増加した」が14.8%、「あまり変わらない」が46.3%、「減少した」が38.9%となっている。
（前回調査 「増加した」：20.5%、「あまり変わらない」：40.4%、「減少した」：39.1%）
業種別では「増加した」が、製造業では11.6%、卸売業では12.5%、小売業では9.5%となっている。

3 【新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の経営状況について】

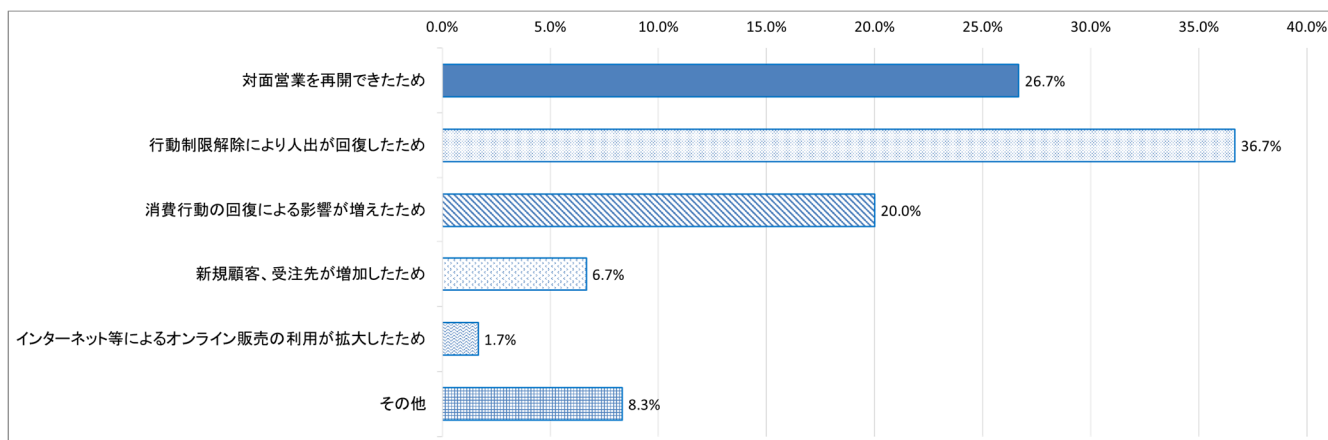
新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症へ移行しました。5類移行以前と比べた、5月以降の貴社の経営状況として当てはまるものを教えてください。

「変わらない」が63.8%、「プラスの影響があった」が17.2%、「マイナスの影響があった」が11.7%、「大いにプラスの影響があった」が2.5%、「大いにマイナスの影響があった」が4.9%となっている。



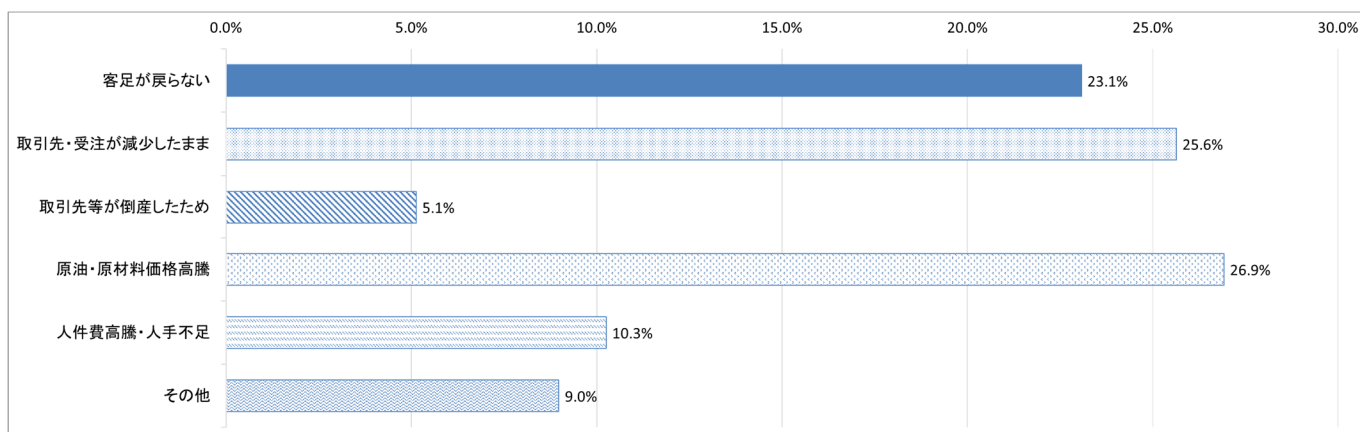
4 プラスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。

「行動制限解除により人出が回復したため」が36.7%、「対面営業を再開できたため」が26.7%、「消費動向の回復による影響が増えたため」が20.0%、「その他」が8.3%、「新規顧客、受注先が増加したため」が6.7%、「インターネット等によるオンライン販売の利用が拡大したため」が1.7%となっている。



5 マイナスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。

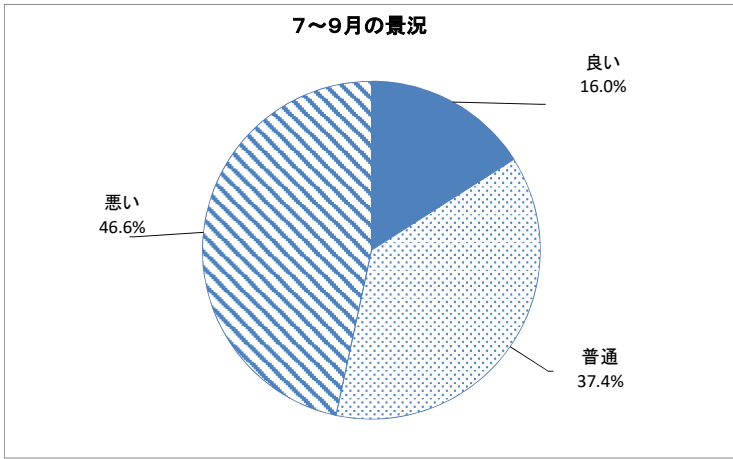
「原油・原材料価格高騰」が26.9%、「取引先・受注が減少したまま」が25.6%、「客足が戻らない」が23.1%、「人件費高騰・人手不足」が10.3%、「その他」が9.0%、「取引先等が倒産したため」が5.1%となっている。



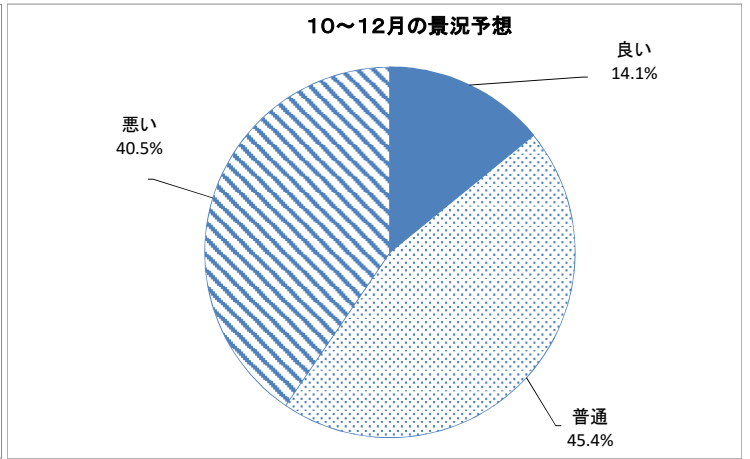
6 主な自由意見等

業種	内 容
製造	5類移行後も従業員とその家族にコロナ感染が続いており、製造現場の人員配置のやりくりが大変である。
製造	お客様を訪問し、対面形式で見本の確認や調整ができるようになった。5類移行は事業活動にはプラスとなっている。
卸売	国内向けの取引は横ばいだが、外国人相手の取引は上向きとなっている。
卸売	6月位からようやく受注が動き出した感じがある。 一方で、輸入している材料や部品は国内の建設ラッシュの影響で入荷が遅れるものもある。
卸売	コロナ5類移行後も傾向は変わらないが、若干プラスにはなっている。 今後の原材料価格の動きを注視している。
サービス	売上は増加したものの、物価上昇により利益は減少している。 値上げが出来ないため厳しい経営状況が続いている。
サービス	5月以降、人出が変わってきた。この人出をどうすればお客様の来店につなげられるか、日々考えている。
小売	なかなかマスクを外せない方が多く、化粧品販売の難しさは継続している。
小売	(惣菜販売)6月以降、気温の高い日が多く売上が伸びなかったが、秋以降は平年並みの売上を見込んでいる。
建設	材料費や人件費が上がっているが、値上げについて契約先から理解を得られない。 若手育成のため勉強の機会を増やしており、その分の費用もかかる。
建設	コロナの影響が残っており、メインの顧客の受注が減少している状態が続く。得意先への訪問などで糸口を見つけたいと思っている。

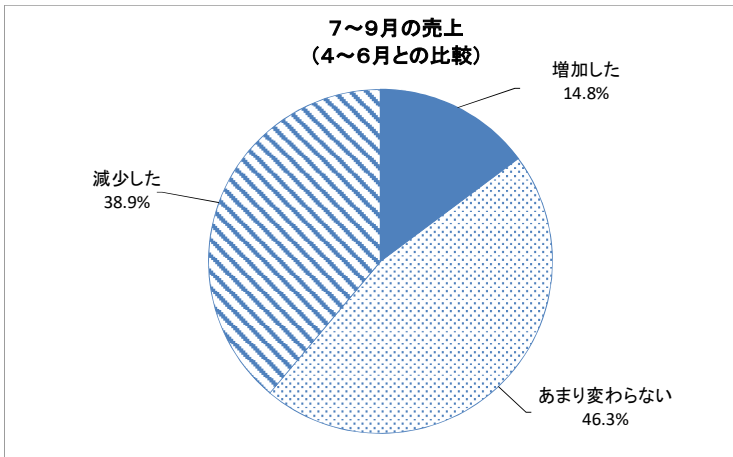
令和5年7～9月 あら坊の景気ウォッチング[全業種] 有効回答163事業所



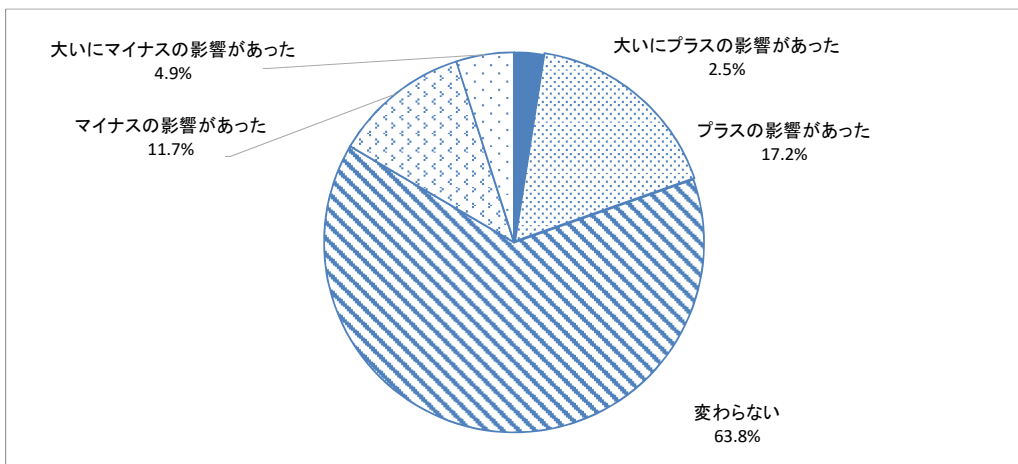
DI ▲ 30.7



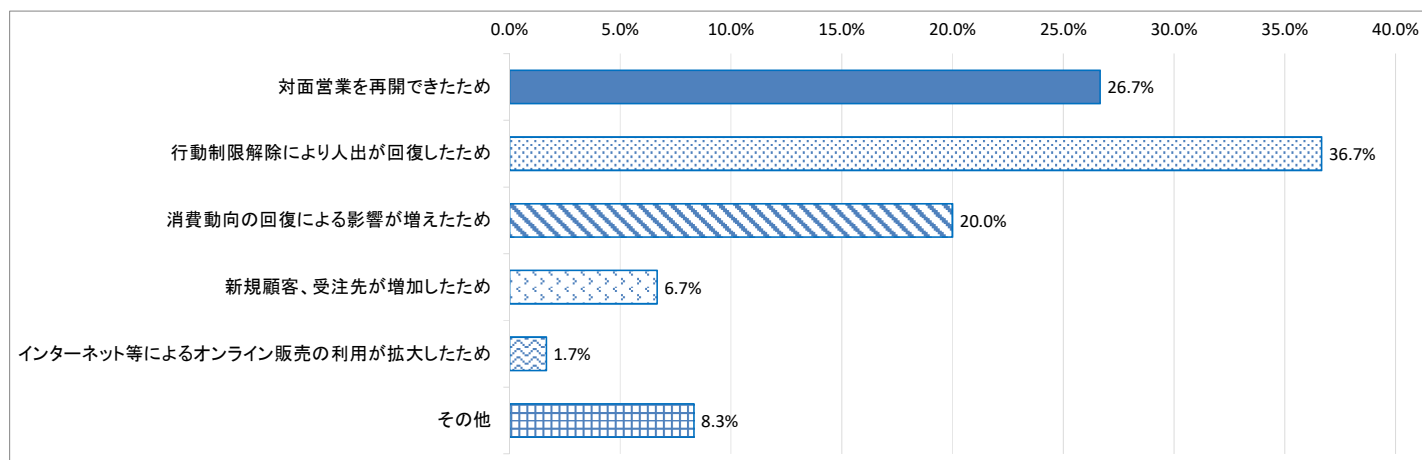
DI ▲ 26.4



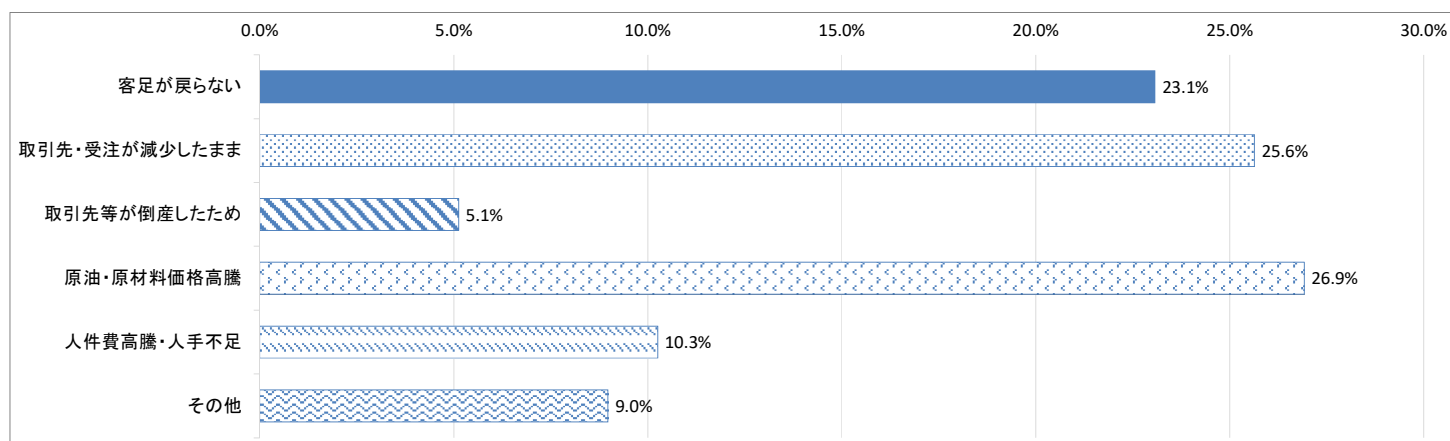
【新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の経営状況について】
 新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症へ移行しました。
 5類移行以前と比べた、5月以降の貴社の経営状況として当てはまるものを教えてください。



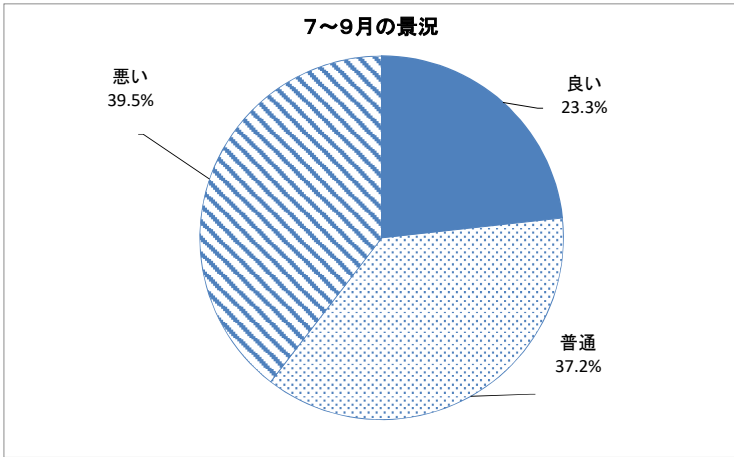
プラスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。



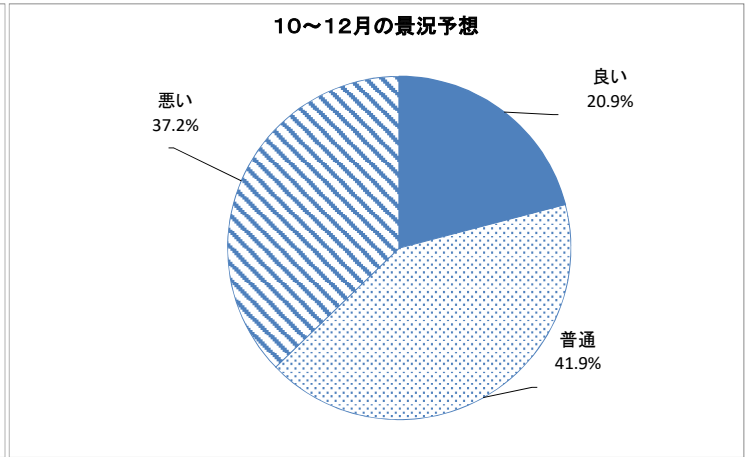
マイナスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。



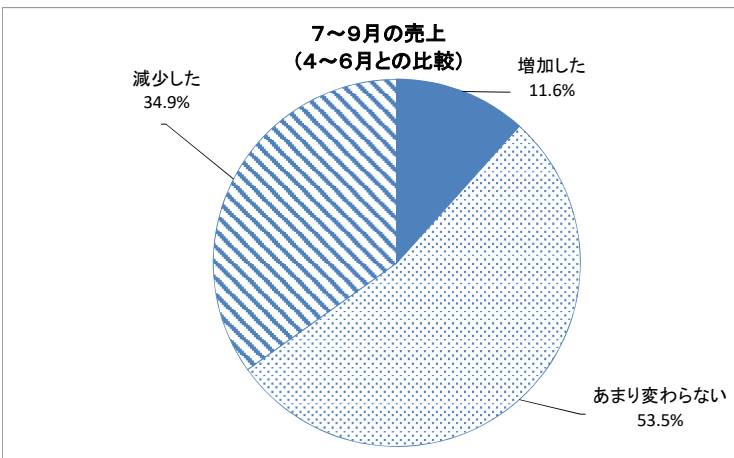
令和5年7～9月 あら坊の景気ウォッチング[製造業] 有効回答43事業所



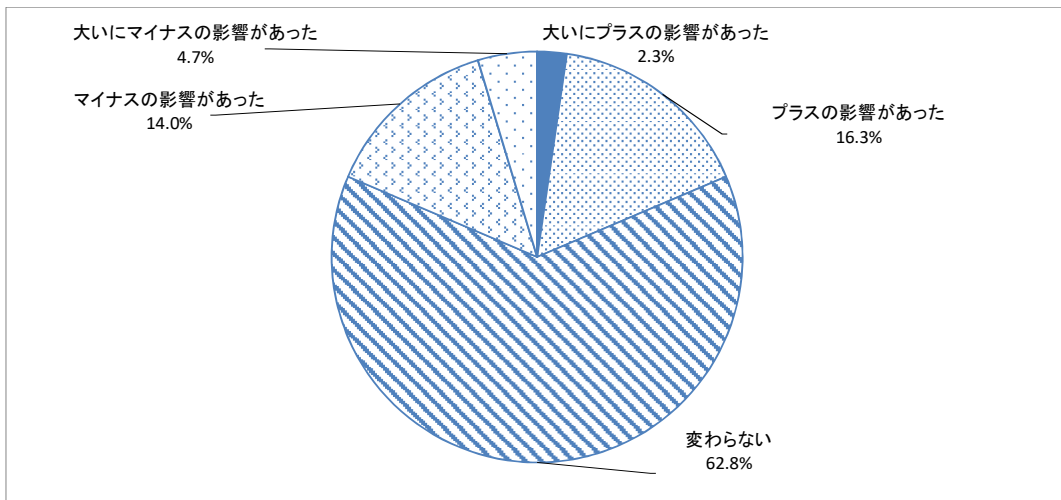
DI ▲ 16.3



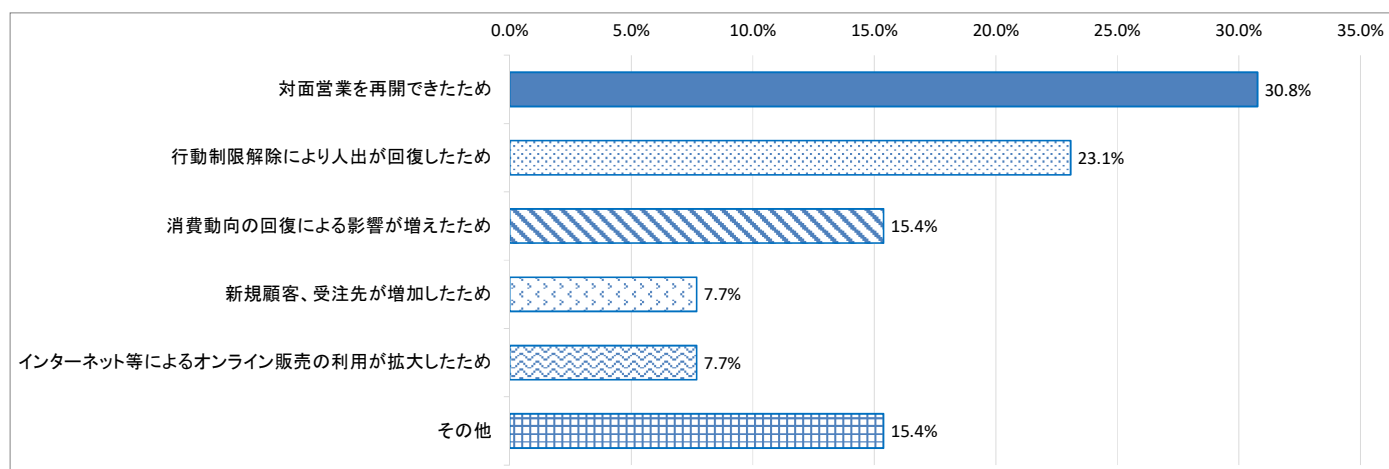
DI ▲ 16.3



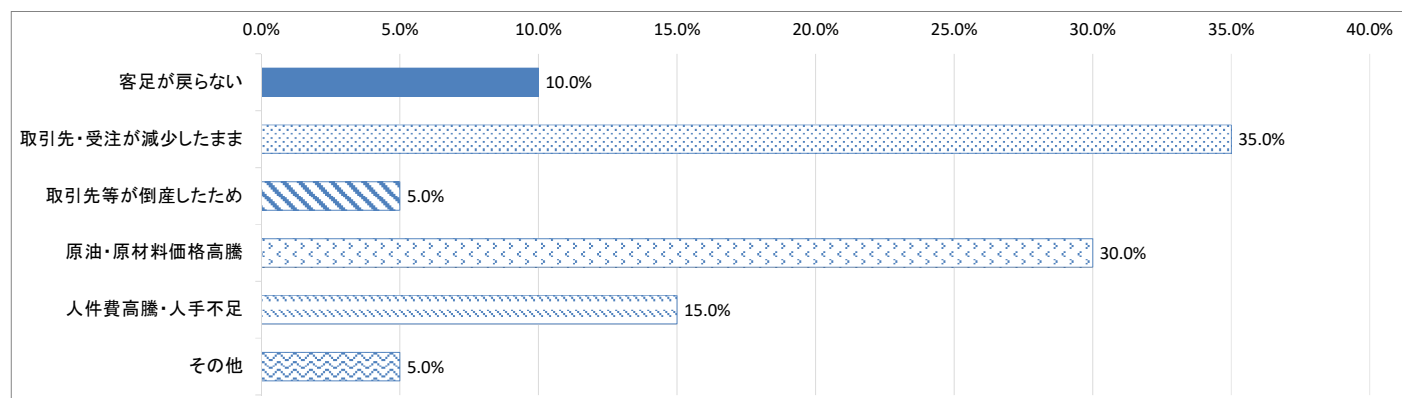
【新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の経営状況について】
 新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症へ移行しました。
 5類移行以前と比べた、5月以降の貴社の経営状況として、当てはまるものを教えてください。



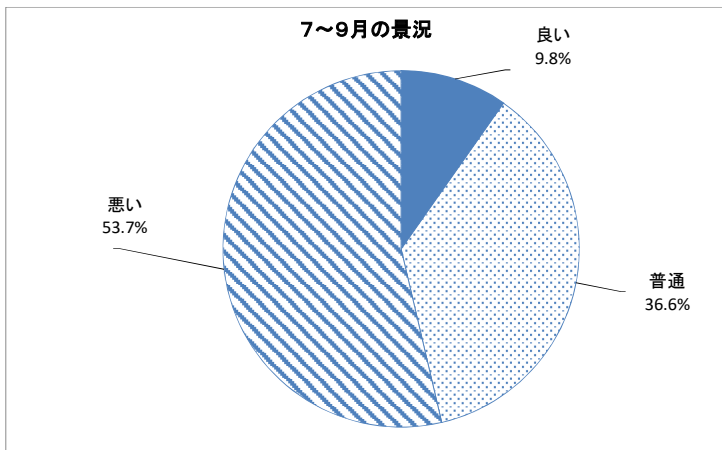
プラスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。



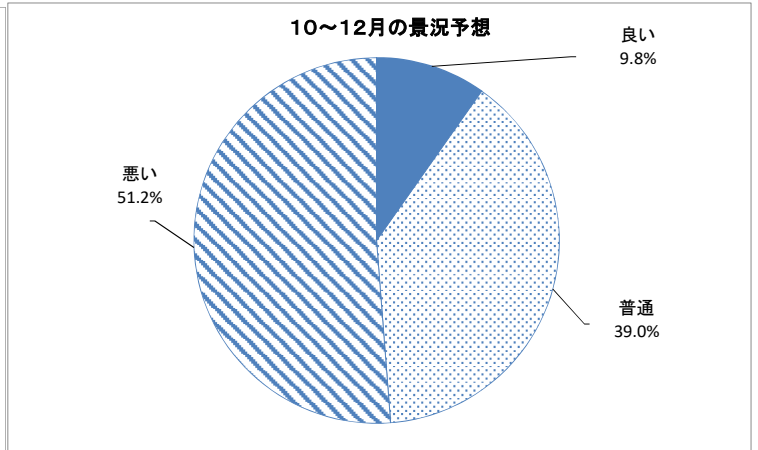
マイナスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。



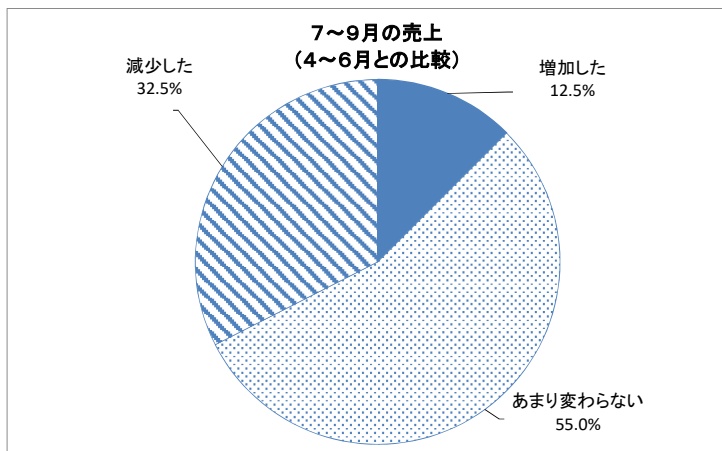
令和5年7～9月 あら坊の景気ウォッチング[卸売業] 有効回答41事業所



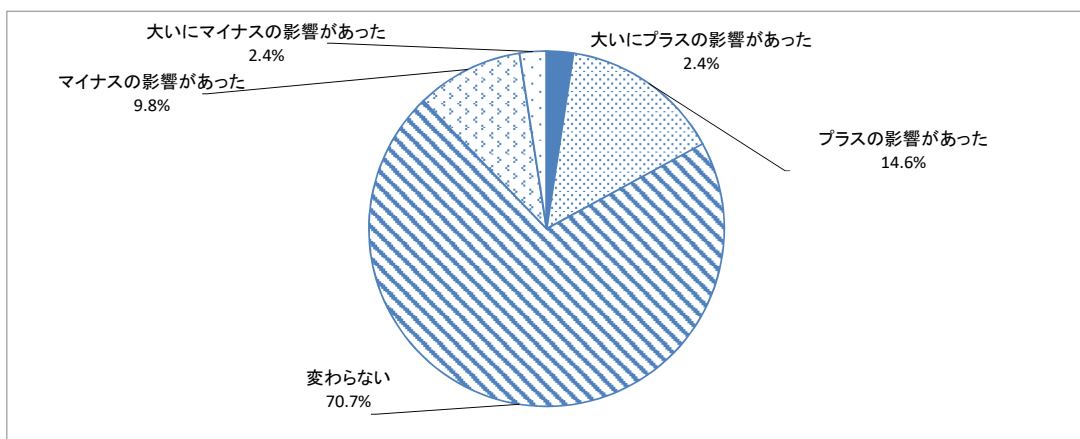
DI ▲ 43.9



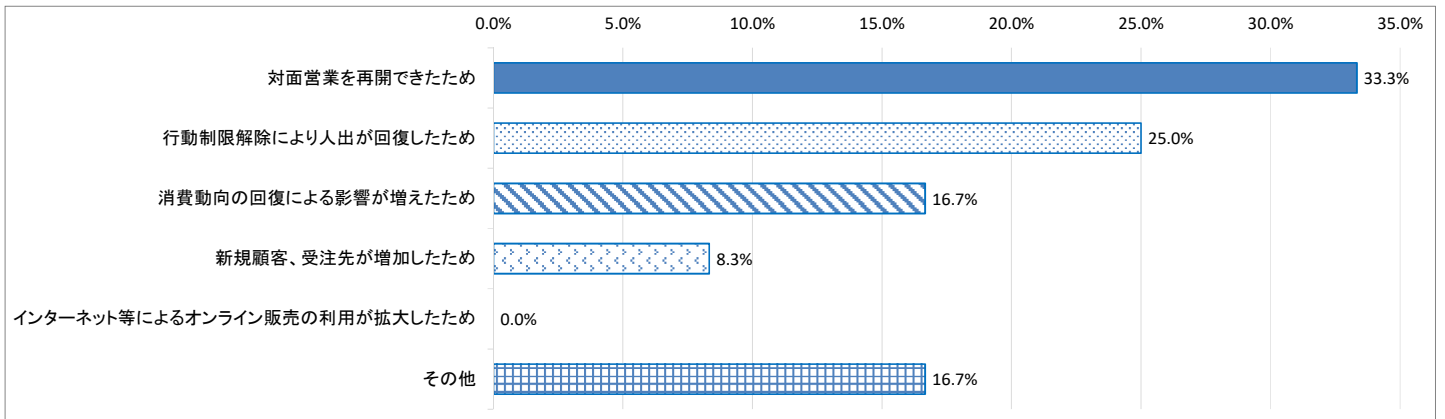
DI ▲ 41.5



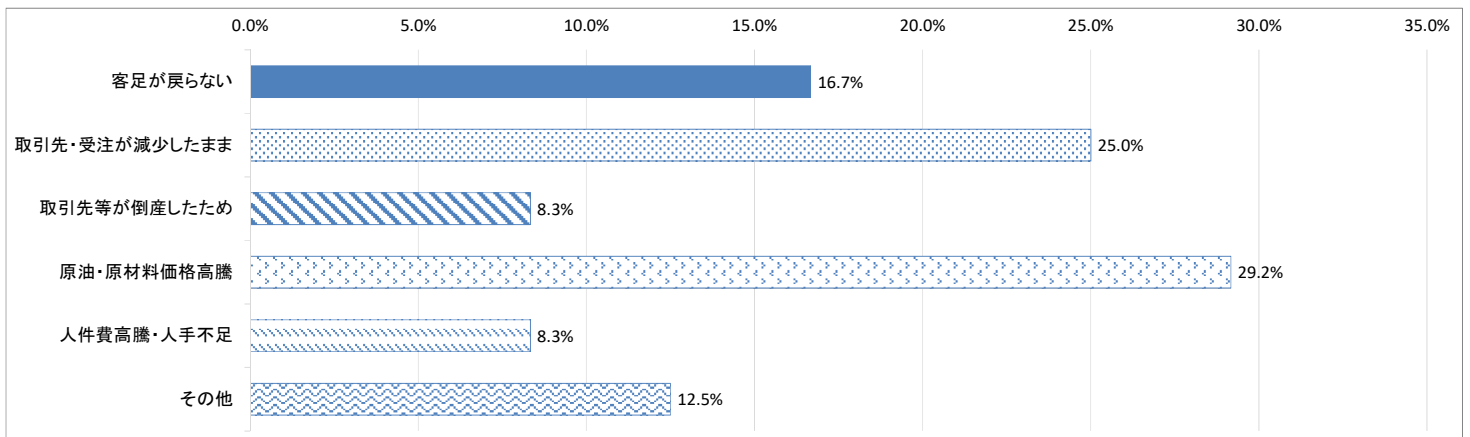
【新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の経営経営状況について】
 新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症へ移行しました。
 5類移行以前と比べた、5月以降の貴社の経営状況として当てはまるものを教えてください。



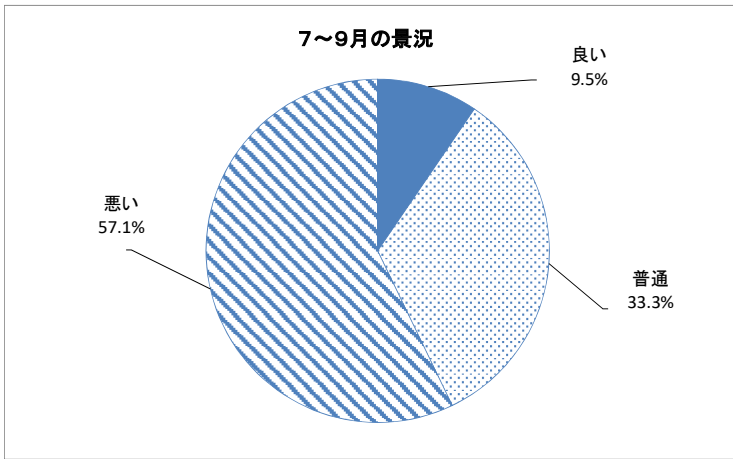
プラスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。



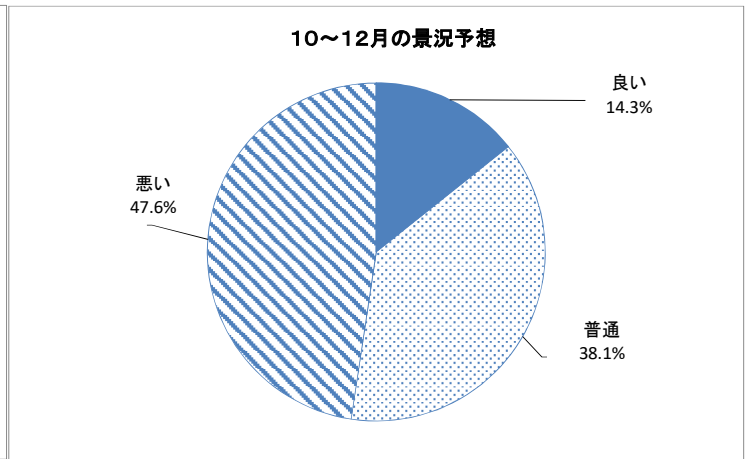
マイナスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。



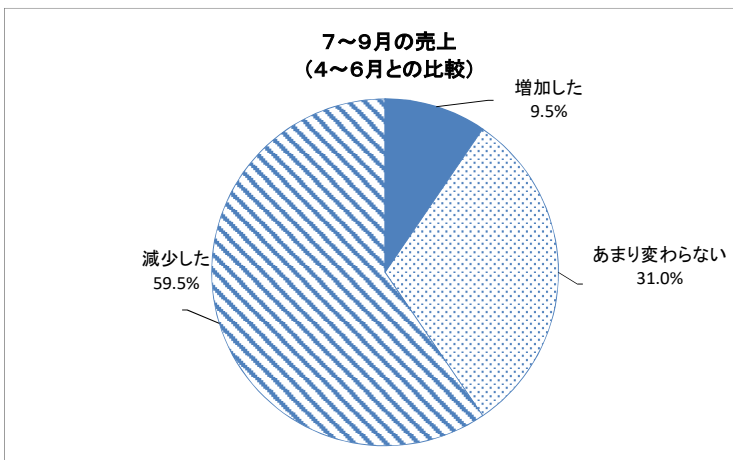
令和5年7～9月 あら坊の景気ウォッチング[小売業] 有効回答42事業所



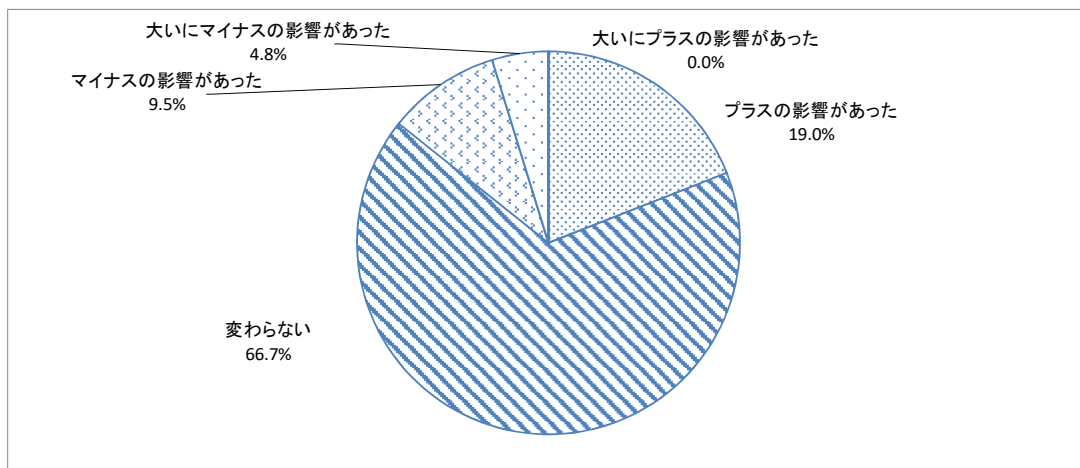
DI ▲ 47.6



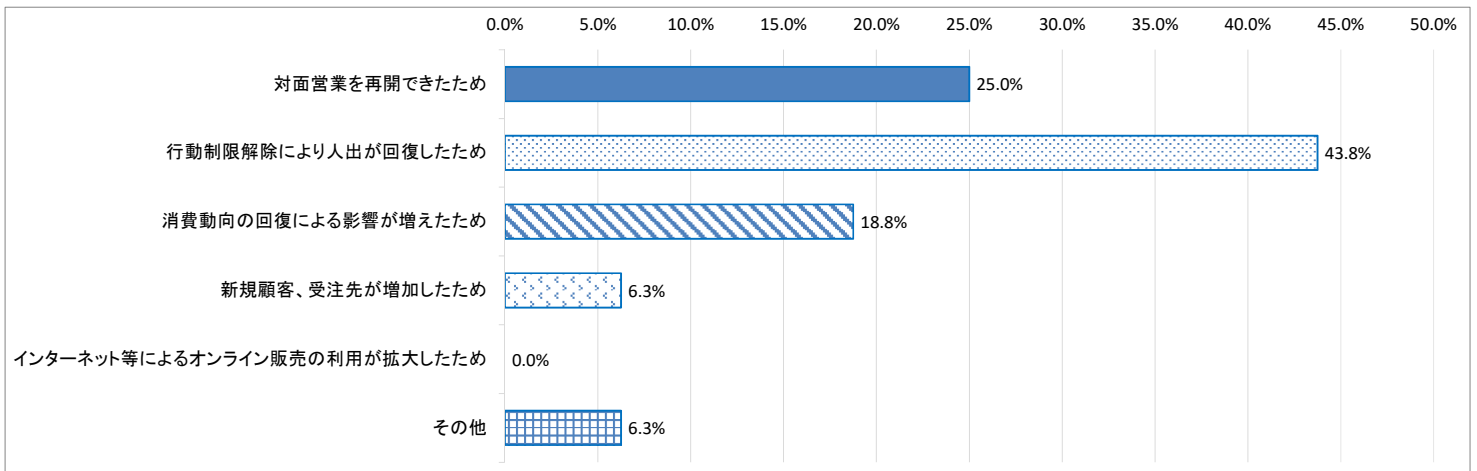
DI ▲ 33.3



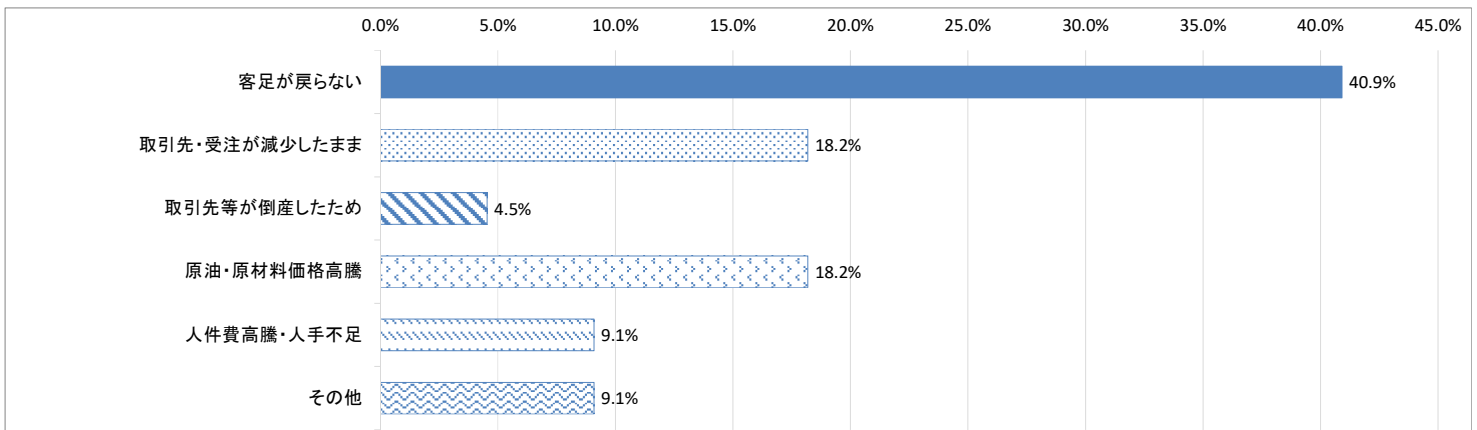
【新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の経営状況について】
 新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症へ移行しました。
 5類移行以前と比べて、5月以降の貴社の経営状況として当てはまるものを教えてください。



プラスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。

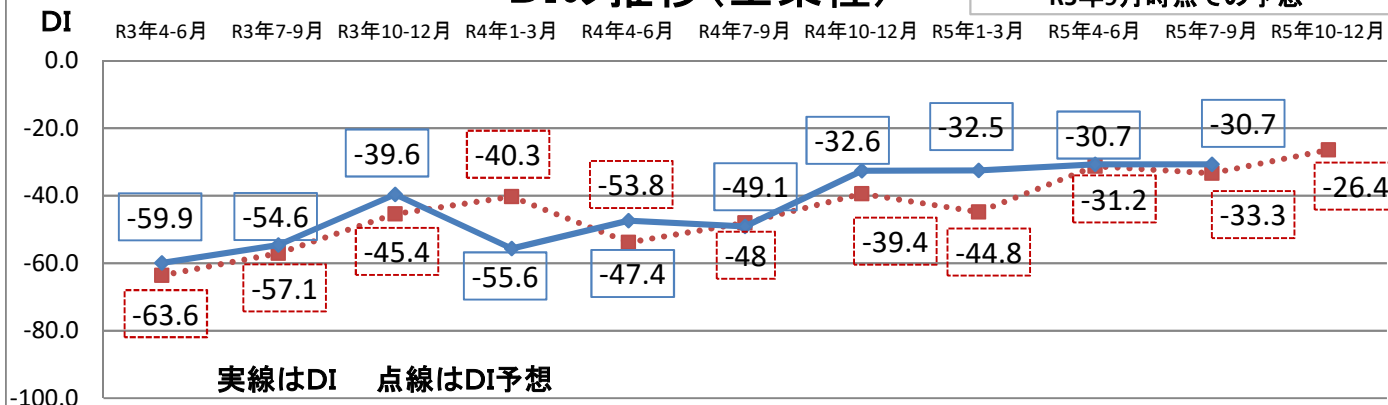


マイナスとなっている主な要因として、貴社に当てはまるものを教えてください。

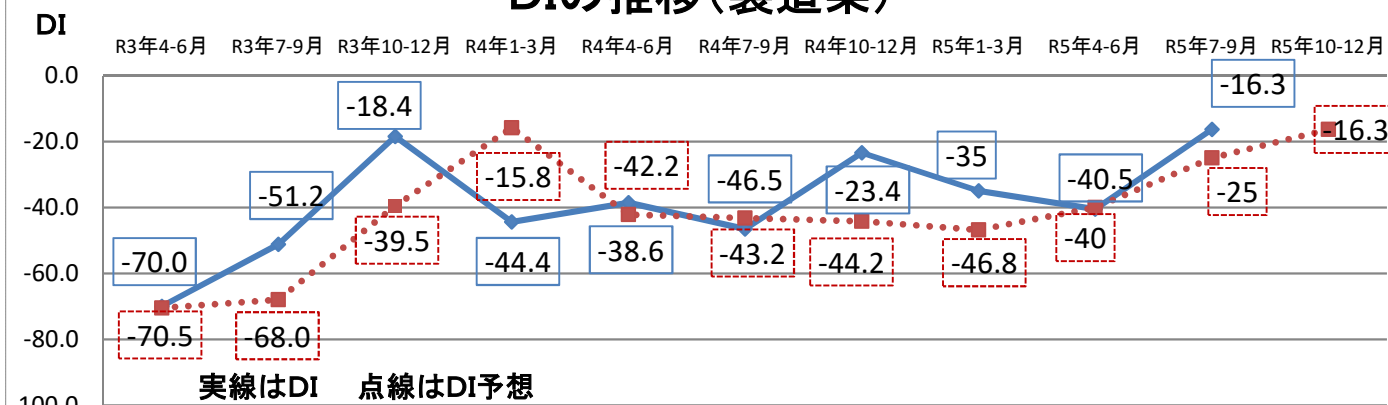


DIの推移(全業種)

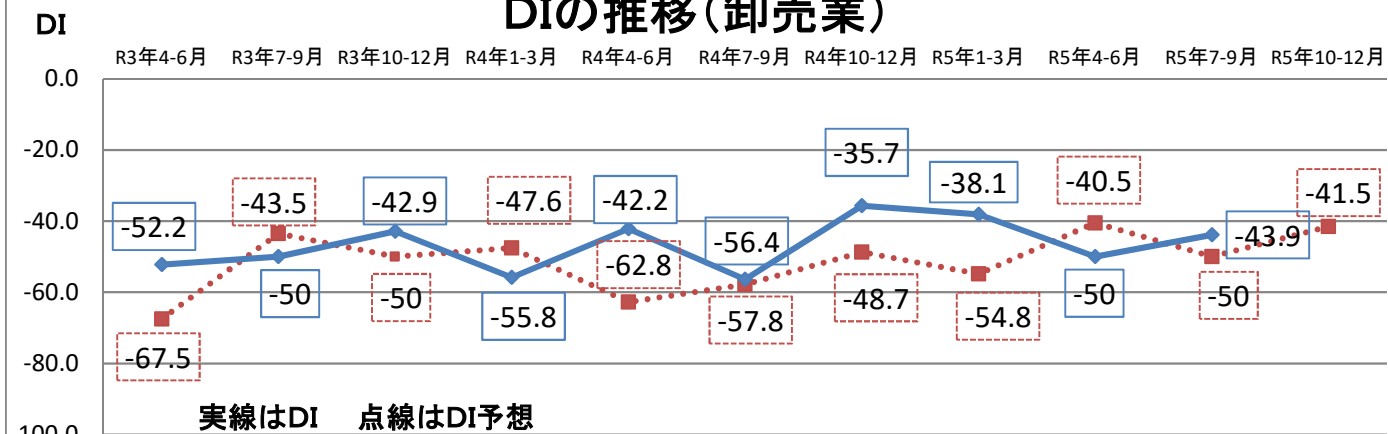
(例)DI予想のR5年10~12月は、
R5年9月時点での予想



DIの推移(製造業)



DIの推移(卸売業)



DIの推移(小売業)

